

ライフリズムナビ + Dr. アラート設定方法解説セミナー (居室内の異常通知 編)

EcoNaviSta

千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目3番地 幕張テクノガーデンB棟10階

TEL:050-5526-3869

ライフリズムナビ + Dr.
Life Rhythm Navi Plus Doctor

専門医が考えたSaaS型高齢者見守りシステムで
介護・医療現場のお悩みを解決します。



はじめに

このセミナーは、ライフリズムナビVer2.0の画面で操作方法などをご紹介する内容となっております。

Ver1.0の方は、Ver2.0へアップデートすることで、機能をご利用いただけます。

Ver2.0へのアップデートご希望の方は、施設管理者様より弊社サポートまでご連絡ください。

ライフリズムナビ+Dr. Ver1.0



ライフリズムナビ+Dr. Ver2.0



本セミナーの目的

1

温湿度・あけしめセンサーに関するアラートの
基本的な機能を理解する

2

良いアラートの設定方法とは？を理解する

3

各種アラート通知の**活用方法**を持ち帰っていただく

本日の目次

01. 温湿度センサーの基本機能を理解する
02. あけしめセンサーの基本機能を理解する
03. 温湿度・あけしめセンサーに関する各種アラートについて
04. アラートの適切な設定方法を理解する
05. アラートの活用事例のご紹介
06. 質疑応答



00. 過去のセミナー動画配信中！

セミナー動画の視聴方法について



居室一覧画面より「サポート」を選択。



項目内の「タイガーロール」を選択。



ページ下部の「セミナー動画」を選択。
セミナーの動画や資料を配信していますので、是非ご覧ください。

01. 温湿度センサーの基本機能を理解する

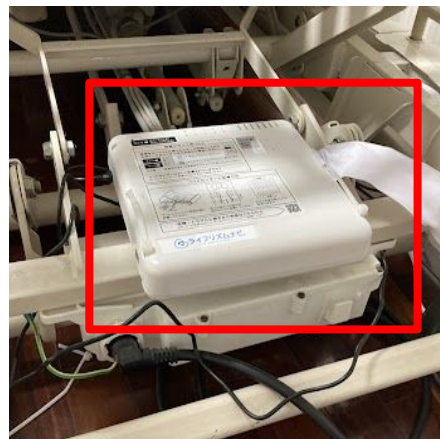
取り付け状態について

2016～2021年導入



ベッド近くの壁に取り付け

2022年～導入



ゲートウェイケース内に基板内蔵
ベッド下に取り付け

01. 温湿度センサーの基本機能を理解する

季節によるトラブル

冬

要介護度

NHK

室温 20度下回る **1.5倍** 悪化しやすい
(20度以上の場合と比較)

湿度 30%下回る **2倍** 悪化しやすい
(30%以上の場合と比較)

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20211202/k10013371091000.html>

夏

今年は「10年に1度」の危険な暑さ、熱中症搬送者の5割超は高齢者

2023/07/26 11:44

この記事をストックする    

夏本番を迎え、日本列島は危険な暑さに見舞われている。気象庁は今後、全国の広い範囲で「10年に1度程度」の猛烈な暑さになると予報し、専門家は熱中症への警戒を呼びかけている。

<https://www.yomiuri.co.jp/science/20230726-OYT1T50164/>

01. 温湿度センサーの基本機能を理解する

季節によるトラブル

冬

- ▽換気による温度や湿度の低下
- ▽感染症に罹患しやすくなる
- ▽感染症による脱水症状
- ▽血圧の上昇
- ▽腰、肩、膝の関節痛
- ▽ヒートショックによるトラブル

夏

- ▽体内の水分量の低下による脱水症
- ▽体温調節機能の低下
- ▽食欲不振
- ▽汗や湿気による肌トラブル
- ▽冷房のつけすぎによる体調不良

01. 温湿度センサーの基本機能を理解する

検知の方法について

居室内の温度湿度をリアルタイム画面に反映

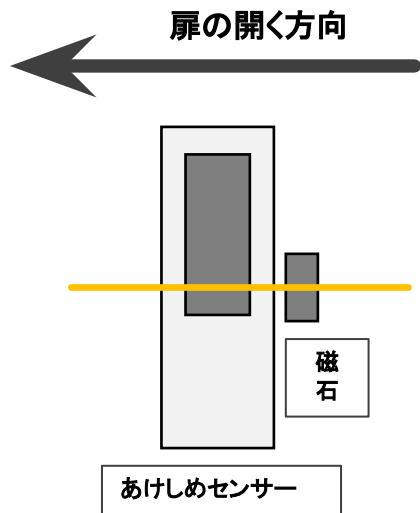
「窓が空いている」
「エアコンが正常に動いていない」
「加湿器が停止している」

などの居室の**異常の発見**につながる



02. あけしめセンサーの基本機能を理解する

取り付け状態について



ドアにあけしめセンサーを、壁側に磁石を両面テープで取り付け
※磁石の紛失に注意

02. あけしめセンサーの基本機能を理解する

検知の方法について

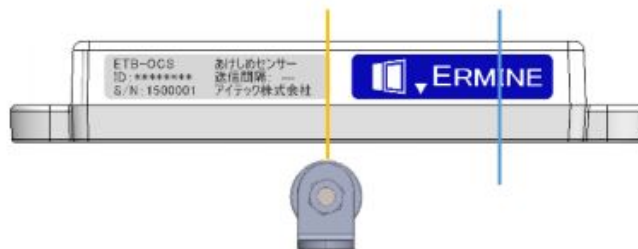
ドアが「開いた」判定

ドアが開いて、あけしめセンサーと磁石が離れた際にドアが開いたと判定

ドアが「閉まった」判定

ドアが閉まり、あけしめセンサーと磁石が近づいた時にドアが閉まったと判定

アイコンシール（青）の白抜き文字「ERMINE」の「I」とマグネット中心を合わせて頂くことで検知しますが、図示の銘板シール（白色）側の右端にも検知範囲があります。



02. あけしめセンサーの基本機能を理解する

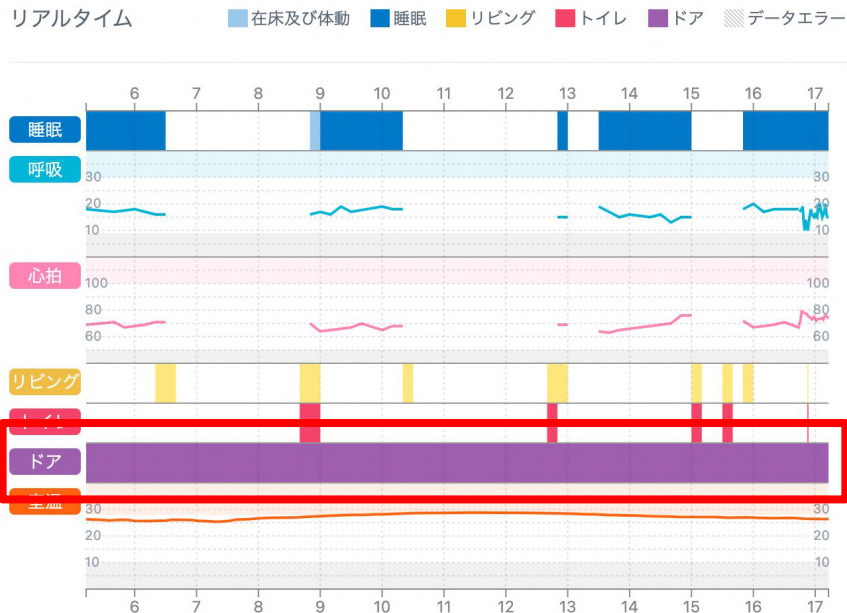
検知の方法について

ドアが「開いた」判定

ドアが開いたままの場合、右図のようにドアセンサーの反応が記録され続ける。

右図になる事例

- ・ドアに緩衝材などを挟んでいる
- ・換気のために、ドアに物を挟んでいる
- ・ドアを開いた状態にして見守りをしている
- ・磁石を紛失している
- ・あけしめセンサーと磁石の設置位置がズれている



02. あけしめセンサーの基本機能を理解する

リアルタイムアイコンの表示優先順位について

臥床している場合



601-4 入居者601-4 様

🔥 24℃

💧 68%



寝ています

❤️ 70/分

🫁 18/分

ベッドセンサーが表示される

臥床していない場合



602 入居者602 様

🔥 26℃

💧 53%



ドアが開きました

あけしめセンサーが表示される

02. あけしめセンサーの基本機能を理解する

センサーエラー時のトラブルシューティング①

ゲートウェイがエラー状態の場合

⚠ ゲートウェイの電源または通信をご確認ください

手順①

電源ケーブルの接続確認



- ・ゲートウェイ本体側の差込口
- ・壁コンセント側の差込口
- ・LANケーブルの差込口

手順②

ゲートウェイ再起動

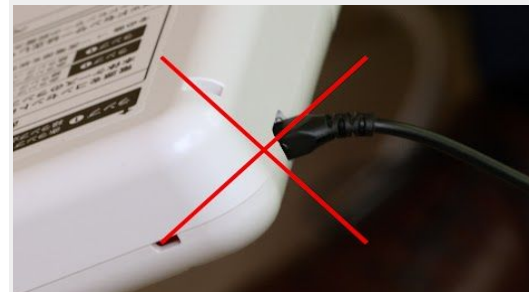


※赤色のLEDが常時点灯、
緑色のLEDが点滅が正しい状態です

- ・各種電源アダプタを抜く
- ・再度電源を接続する
- ・ゲートウェイ内LEDランプ確認

手順③

ケーブルの折れ/断線の確認



- ・ACアダプタの断線を確認
- ・コネクタ部の折れを確認
- ・正規品ACアダプタ使用の確認

02. あけしめセンサーの基本機能を理解する

センサーエラー時のトラブルシューティング②

ゲートウェイが正常に稼働している場合

USBの接続確認

ドングルが抜けている、延長ケーブルが断線している可能性があります。接続を確認してください。



設置位置の確認

ゲートウェイが他の居室へ移動していたり、部屋の隅にゲートウェイを設置して使用している場合、電波が弱まりエラーとなる場合があります。ゲートウェイの設置状況をご確認ください。

障害物の確認

ダンスや扉などの障害物があることで電波が拾いにくくなる場合があります。時間帯により、一時的にセンサーがエラーとなる事象がみられた時には、ゲートウェイと温湿度・あけしめセンサー間の状況をご確認ください。

03. 温湿度・あけしめセンサーに関する各種アラートについて

アラート一覧



高温アラート

お知らせのタイミング

室内の温度が長時間高いままの場合、お知らせします。

使用場面

エアコンをあまり利用されない場合や、エアコンの操作が不自由なご入居者の場合などにご使用下さい。

繰り返り防止（再通知サイクル）

一度アラートによるお知らせを行うと、その後6時間は同じお知らせを行いません。



湿度低下アラート

お知らせのタイミング

室内の湿度が長時間低いままの場合、お知らせします。

使用場面

冬にエアコン（暖房）で室内が乾燥する場合、加湿器等の使用をご検討ください

繰り返り防止（再通知サイクル）

一度アラートによるお知らせを行うと、その後6時間は同じお知らせを行いません。



ドアアラート

お知らせのタイミング

ドアが開いたタイミングでお知らせします。

使用場面

室外での歩行に介助が必要な場合などにご使用下さい。

※ドアが開いたままの状態では、アラートによるお知らせを行いません。
※在床の場合には、スタッフなどによる反応と判断しお知らせしません。

(例) 夜間巡視での訪室時



低温アラート

お知らせのタイミング

室内の温度が長時間低いままの場合、お知らせします。

使用場面

エアコンをあまり利用されない場合や、エアコンの操作が不自由なご入居者の場合などにご使用下さい。

繰り返り防止（再通知サイクル）

一度アラートによるお知らせを行うと、その後6時間は同じお知らせを行いません。



センサー反応なしアラート

お知らせのタイミング

居室内のセンサーが反応を検知できなくなった場合、お知らせします。

使用場面

居室内で転倒していたり、動けなくなっている可能性が考えられます。
転倒などの心配がある場合にご使用下さい。

※ ドア、人感、ベッドセンサーを導入している居室のみ

03. 温湿度・あけしめセンサーに関する各種アラートについて

高温・低温・湿度低下アラート

対象センサ

温湿度センサー

発報条件

「見守り温度」「見守り湿度」
を超過した場合に発報

連続発生抑制

6時間

高温アラート ON
見守り時間：24時間 見守り温度：30°C [閉じる](#)

見守り時間 24時間
 時間を指定する

見守り温度 °C
- 20~40の半角整数で入力してください

低温アラート ON
見守り時間：24時間 見守り温度：15°C [閉じる](#)

見守り時間 24時間
 時間を指定する

見守り温度 °C
- -10~20の半角整数で入力してください

湿度低下アラート ON
見守り時間：24時間 見守り湿度：40% [閉じる](#)

見守り時間 24時間
 時間を指定する

見守り湿度 %
- 10~50の半角整数で入力してください

03. 温湿度・あけしめセンサーに関する各種アラートについて

ドアアラート

対象センサ

あけしめセンサー(ベッドセンサー)

発報条件

ドア閉じている状態から、開いたタイミングで発報

※ドアが開いたままの状態では発報しない

※ベッドセンサーが**不在の場合のみ発報**する

連続発生抑制

1分間



ドアアラート

お知らせのタイミング

ドアが開いたタイミングでお知らせします。

使用場面

室外での歩行に介助が必要な場合などにご使用下さい。

※ドアが開いたままの状態では、アラートによるお知らせを行いません。

※在床中の場合には、スタッフなどによる反応と判断しお知らせしません。

(例) 夜間巡視での訪室時



鳴りすぎ防止(再通知サイクル)

一度アラートによるお知らせを行うと、その後1分間は同じお知らせを行いません。

03. 温湿度・あけしめセンサーに関する各種アラートについて

センサー反応なしアラート

対象センサ

ベッドセンサー、あけしめセンサー
リビング人感センサー

※上記センサが全て導入されている部屋のみ設定可能

発報条件(以下①②の条件を満たした時)

- ①最後のベッドセンサー or 人感センサー反応から「反応無し時間」反応がないこと
- ②最後のベッドセンサー or 人感センサー反応の5分前からドアが開いていないこと

※ 発報条件の人感センサーにはトイレ人感センサーも含む

連続発生抑制

1時間

センサー反応なしアラート
見守り時間：24時間 反応なし時間：30分 [閉じる](#)

見守り時間
 24時間
 時間を指定する

反応なし時間
30 分
- 10~180の半角整数で入力してください

04. アラートの適切な設定方法を理解する

アラート活用での注意点

よくあるアラート設定の失敗例

①

アラートの基準を設けずに設定する

何かあると不安…と多くのご入居者に設定をする。



②

アラート通知を処理しきれなくなる

アラート未読がたくさん溜まっている状態になる。



③

業務の負担が増加する

アラート通知の対応に追われ、負担の増加に。



④

アラートがBGM化してしまう

通知が鳴っても対応をしなくなる。画面を見なくなる。

この状態になっていたら要注意！



04. アラートの適切な設定方法を理解する

アラート活用での注意点

良いアラートの設定方法とは？

アラート通知設定が必要か検討する

なぜアラート通知を設定するのか？十分に検討した上でご入居者を選定して設定しましょう。

アラート通知がなった時の対応を明確にする

アラート通知を受け取っても、アクションを起こさなければただのBGMになってしまいます。解決したい課題に沿った対応方針を決め統一しましょう。

アラート通知設定を評価する

期待した効果が得られたか？必ず振り返りを行いましょう。不要であれば、通知設定はオフにするように定期的に見直すことが重要です。

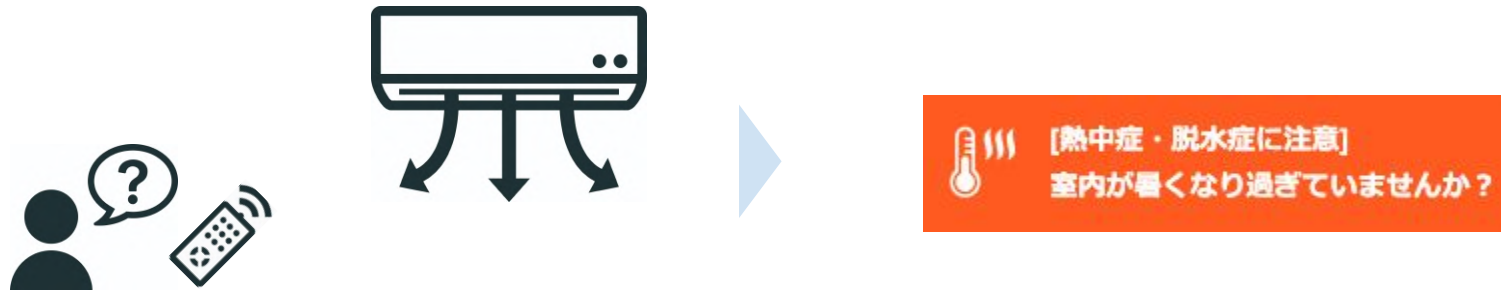
ご入居者ごとにチューニングする

各種アラート通知には、発報条件を調整することができます。ご入居者のADLや、活用の目的に沿って調整しましょう。

05. センサーに関するアラートの活用事例

① 夏に暖房をつけてしまう方などの対策

夏に誤って暖房をつけてしまうことがあるご入居者の居室が、高音アラートにより 30℃以上まで上がっていたことが発見された。



夏場はエアコンをつけたがらないご入居者もあり、室温が高いまましていると脱水症のリスクも高くなるため、水分摂取を意識して多くするよう留意しているとのこと。

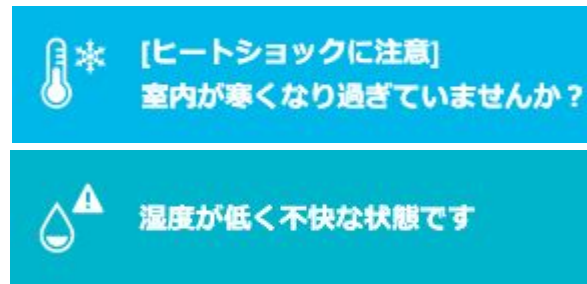
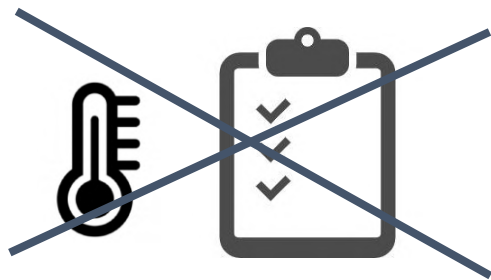
センサー情報を活用し、ご入居者の暮らし方を観察することで、先回りのケアの提供につながっている事例。

05. センサーに関するアラートの活用事例

②室温チェックの業務削減

全居室の室温を1時間に1度チェックしていたが、ライフリズムナビの温湿度センサーを導入したことで、室温チェック表を廃止し、職員の負担が軽減された。

ライフリズムナビでは、居室の室温を常に把握できるため、職員は常に室温を気にする必要がなくなり、介護に専念できるようになった。



空いた時間を利用して、ご入居者とのコミュニケーションを増やすなど、手厚い介護につながった事例。

05. センサーに関するアラートの活用事例

③徘徊にいち早く介入したい方へのケース事例

誤入室の傾向があるご入居者に対し、ドアアラートを設定した。これにより、リアルタイムでアラート通知が届くようになり、いち早く介入できるようになった。



アラート通知履歴を参照することで、ご入居者が何時に部屋を出たかを振り返ることも繋がっている。また、施設内の防犯カメラと併用することで、いつ部屋を出てどの部屋に入ったのかを確認することができる事例。

05. センサーに関するアラートの活用事例

④居室にて転倒を発見し、救急搬送したケース事例

パーキンソン病を患い、身体が固まってしまい動けなくなることがあるご入居者に、センサー反応なしアラートを設定。

ある日、職員がトイレ介助を終えた後、モニター上で反応なしアラートを確認。近くにいた職員がすぐに訪室すると、居室内で転倒しているご入居者を発見。

頭部から出血しているのを確認したため、止血対応を行い速やかに救急搬送。早期対応により、大事に至らずに済んだ。

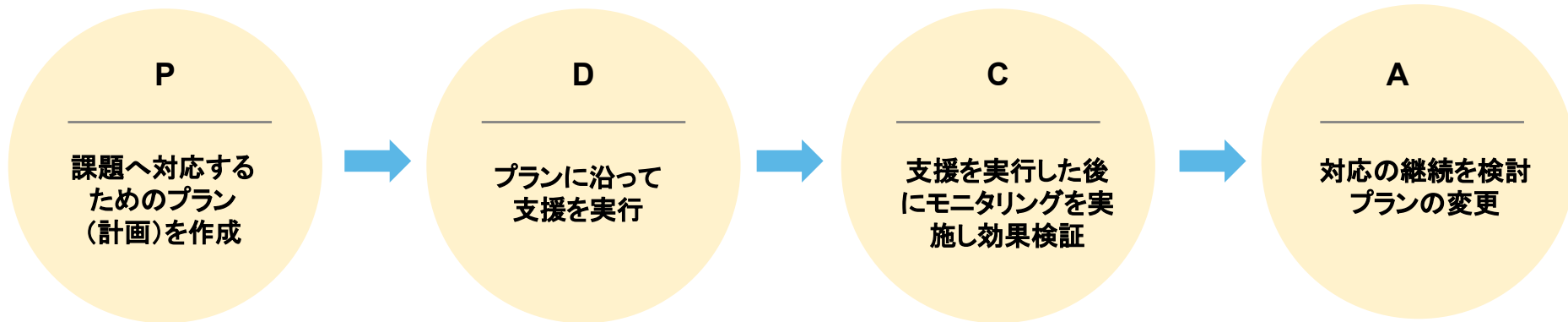


[室内に異常はありませんか？]
センサーが反応を検知できません

居室内の異常のお知らせから、転倒事故の早期発見につながった事例。

05. センサーに関するアラートの活用事例

PDCAを回してアプローチを継続する



課題を解決するまでPDCAを回していく

06. 質疑応答



質問がある方は
お気軽にどうぞ！

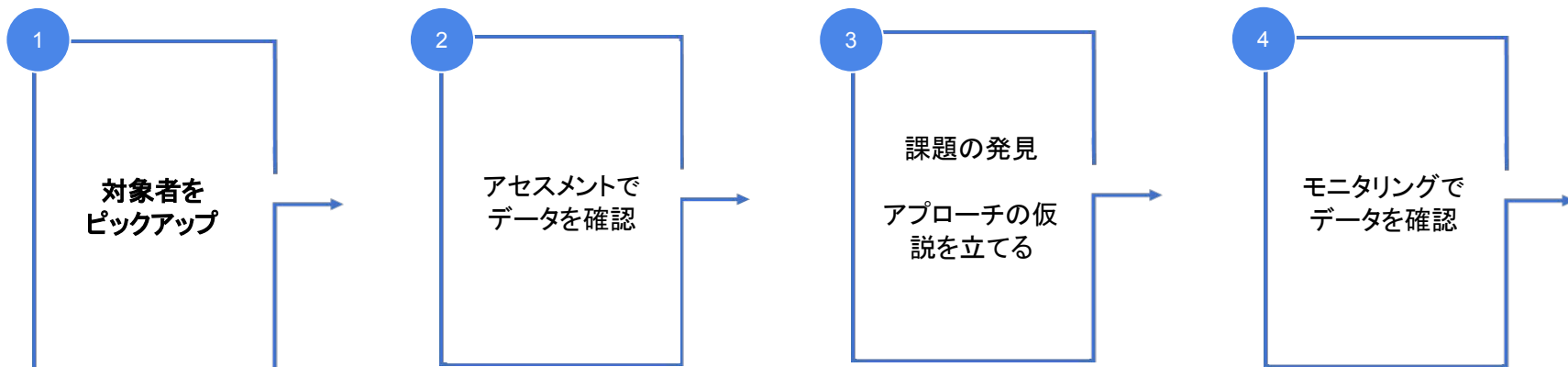
セミナー後に、アンケートを実施させていただきます。ご協力の程お願い致します。



おわりに

セミナー参加後のアクションプラン

まずは**アラートが必要な方を選定する**ことからスタート！



アラート通知機能は、画面を見ていなくても居室の状況をお知らせしてくれる便利な機能です。

ただ、適切に設定をしないと、むしろ業務の負担につながる恐れがあります。

検証期間を決め、定期的モニタリングを設けてアラート通知が本当に必要な方を選定することが大切です。

本日はご清聴ありがとうございました。

開発・運営: エコナビスタ株式会社

〒261-0023

千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目3番地 幕張テクノガーデンB棟10階

TEL:050-5526-3869